学年	中学２年	教科	国語	科目	国語	単位数	5
教科書名		国語 2(光村図書)		副教材名	常用漢字の級別学習コンプリート新装版(京都書房) 国語活用資料集(新学社) 漢文名文選故事成語編(筑摩書房) オールマイティアクティブ国語中 2(康文社) 解いて覚える中学生の文法（東京法令出版）		
コース・クラス		中高一貫					

Ⅰ．目標

目的や場面に応じ、社会生活に関わることなどについて立場や考えの違いを踏まえて話す能力、考えを比べながら聞く能力、相手の立場を尊重して話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを広げようとする態度を育てる。

Ⅱ．授業のねらい

1　抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意し、登場人物の人物像などに着目しながら作品を味わう。
2　社会生活の中から話題を決め、自分の意見を述べる際に根拠をもって説明する力・論理的な構成や展開を考える力、多方面に検討するための材料を様々な方法で集め整理し、表現する力を身に付ける。
3　古語や古典文法、漢文特有の表現やリズム、時代背景に興味を持ち、古典の世界を楽しむ。また、現代と比較し、他者と意見を交換することでより深く古文を味わう態度を育てる。
4　口語文法の知識を増やし、文章読解や意見文を正確に記述する力を身に付ける。

Ⅲ．授業の進め方

1　講義形式だけでなく、必要に応じてペアワークやグループ学習も行う。
2　単元の内容理解を主とし、文章の構成や表現方法を学習していく。その中で初見問題など演習の時間も多く取り入れる。
3　確認テストを適宜実施し、内容理解を深める手立てとする。また、漢字テストを毎週実施し、語彙力の定着を図る。

Ⅳ．学習上の留意点

1　配布したプリントはノートに貼るかファイリングし、整理・保管しておく。
2　積極的に授業に参加するとともに、必要な情報や自分の考えをノートにまとめる。
3　確認テスト・小テストの計画表を確認し、必ず事前に対策を行う。

Ⅴ．定期試験

1 学期　中間試験　：　『木』、『言葉の力』、『短歌に親しむ』、『字のない葉書』、文法、初見問題、百人一首
1 学期　期末試験　：　『アイスプラネット』、『クマゼミ増加の原因を探る』、文法、初見問題、百人一首
2 学期　中間試験　：　『枕草子』、『徒然草』、漢文、『モアイは語る』、根拠の吟味、文法、初見問題、百人一首
2 学期　期末試験　：　付属語、『走れメロス』、『月夜の浜辺』、異なる立場から考える、立場を尊重して話し合う、文法、初見問題、百人一首
3 学期　学年末　　：　『平家物語』、『盆土産』、『生物が記録する科学』、文法、初見問題、百人一首

Ⅵ．評価の方法

1　定期試験…授業内容をしっかりと理解し、それを応用することができる。
2　小テスト…計画的に自学自習を行い、意欲的に小テストに臨むことができる。

3　提出物…課題に対して期限を守り、真摯に取り組むことができる。

Ⅶ. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4 5 6 7	『木』 『言葉の力』 『短歌に親しむ』 『字のない葉書』 用言の活用 百人一首 オールマイティアクティブ 『アイスプラネット』 『クマゼミ増加の原因を探る』 類義語・対義語・多義語 百人一首 オールマイティアクティブ	・定期試験 ・小テスト ・提出物	・詩を読み味わい、作者のものの見方を捉える。 ・文章を読み、知識や経験と結び付いた考え方を知る。 ・情景を表す語句に着目し、語感を磨く。 ・短歌の形式や特徴を理解し、心情や表現に注意して読む。 ・登場人物の心情、考え方を捉える。登場人物それぞれの関係を読み取る。 ・文章全体と部分との関係や、文と図表の関係に注意して読む。 ・類義語、対義語を使いこなす。 ・用言の活用、活用の種類について理解する。
二学期	9 10 11 12	『枕草子』 『徒然草』 漢文（漢文名文選より） 『モアイは語る』 根拠の吟味 百人一首 オールマイティアクティブ 付属語① 『走れメロス』 『月夜の浜辺』 異なる立場から考える 『君は「最後の晩餐」を知っているか、「最後の晩餐」の新しさ』 百人一首 オールマイティアクティブ	・定期試験 ・小テスト ・提出物	・古文を読み、筆者のものの見方や感じ方を知る。また、三大随筆に触れ、特徴を理解する。 ・登場人物の言動から、心情を考える。 ・返り点を理解し、漢文を書き下すことが出来る。 ・文章の構成に着目し、内容を捉える。 ・自分の意見を支えるためのより適切な根拠のあり方について考える。 ・助動詞の種類や意味について理解する。 ・場面ごとの人物や情景の効果的な描写に着目し、登場人物の人物像や考え方の変化を読み取る。 ・抽象的な概念を表す語句が、作品に与える印象を考える。 ・言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。 ・立場を明確にして、適切な根拠とともに意見を述べる。 ・互いの立場や考えを尊重しながら話し合う。
三学期	1 2 3	百人一首（百人一首大会） 漢詩 『平家物語』 『盆土産』 『生物が記録する科学』 図・表・グラフの活用 付属語② オールマイティアクティブ	・定期試験 ・小テスト ・提出物	・百人一首大会に向けて決まり字や競技方法について理解する。 ・漢詩の形式を理解し、対句などの特徴的な表現や返り点に注意して朗読する。 ・助詞を付けない表現や、七五調、対句、擬音語など、表現の特徴に注意し、古典の世界を楽しみながら朗読する。また、漢文の影響を受けた文体にも着目して読み進める。 ・作品を味わう中で根底にある考え方を感じ取り、理解する。 ・場面の状況を踏まえて登場人物の言動の意味を考え、人柄や心情を読み取る。 ・図・表・グラフを活用した文章から情報を読み取ることが出来る。また、自分が伝えたいことをわかりやすく提示するために、図・表・グラフを使って資料を作成できる。 ・助詞の種類や意味について理解する。

※　シラバスの内容（時間や事項）については，理解度やその他の都合により変更することもあります。